

京都市立養正小学校 学校ニュース 学校評価 令和4年3月14日

校長 佐藤 剛

TEL791-7184 FAX791-7185

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yousei-s/> E-mail:yousei-s@edu.city.kyoto.jp

学校教育目標 「子どもの良さを最大限に伸ばす養正教育の推進」

全校児童，保護者，教職員による学校評価のアンケートを行いました。その結果をお知らせします。数値にアンダーラインがついているのは，1回目より高い箇所です。マイナス面が高くなった箇所は，本校の課題として，改善するよう取り組んでいく所存です。

○第2回学校評価アンケート結果（1月）

A…よく出来ている B…大体出来ている C…あまり出来ていない D…出来ていない プラス…A+B マイナス…C+D

		A(%)	B(%)	C(%)	D(%)	プラス	マイナス
①子どもたちは，授業中，すすんで意見を発表し，先生や友達の話をしっかり聞いている。	児童	47.3	40.9	10.8	0.0	89.2	<u>10.8</u>
	保護者	30.2	67.1	2.7	0.0	<u>97.3</u>	2.7
	教職員	5.9	82.4	11.7	0.0	<u>88.3</u>	11.7
②子どもたちは，授業中，ノートをしっかり書いている。	児童	71.9	25.5	1.7	0.9	<u>97.4</u>	2.6
	保護者	35.2	59.3	5.5	0.0	<u>94.5</u>	5.5
	教職員	23.5	70.6	5.9	0.0	<u>94.1</u>	5.9
③子どもたちは，すすんで読書をしている。	児童	52.8	29.1	13.6	4.5	<u>81.9</u>	18.1
	保護者	30.6	27.8	36.1	5.5	58.4	<u>41.6</u>
	教職員	33.3	60.0	6.7	0.0	<u>93.3</u>	6.7
④子どもたちは，決めた家庭学習をしている。	児童	76.2	16.5	5.5	1.8	92.7	<u>7.3</u>
	保護者	31.9	51.4	13.9	2.8	83.3	<u>16.7</u>
	教職員	5.9	82.4	11.7	0.0	88.3	<u>11.7</u>
⑤子どもたちは，相手の気持ちを考えて，優しくすることができている。	児童	53.6	38.2	7.3	0.9	<u>91.8</u>	8.2
	保護者	30.6	63.9	5.5	0.0	<u>94.5</u>	5.5
	教職員	5.9	88.2	5.9	0.0	94.1	<u>5.9</u>
⑥子どもたちは，時や場に応じた言葉づかいをしている。	児童	41.8	42.8	12.7	2.7	84.6	<u>15.4</u>
	保護者	26.4	59.7	13.9	0.0	86.1	<u>13.9</u>
	教職員	10.5	73.7	15.8	0.0	<u>84.2</u>	15.8
⑦子どもたちは，家や学校でほめられている。	児童	52.7	37.3	9.1	0.9	<u>90.0</u>	10.0
	保護者	48.6	47.1	4.3	0.0	<u>95.7</u>	4.3
	教職員	11.8	88.2	0.0	0.0	100.0	0.0

⑧子どもたちは，困ったことがあれば，家の人や先生に相談している。	児童	60.7	26.2	7.5	5.6	<u>86.9</u>	13.1
	保護者	43.7	43.7	11.3	1.3	87.4	<u>12.6</u>
	教職員	37.5	56.3	6.2	0.0	93.8	<u>6.2</u>
⑨子どもたちは，楽しく学校に通っている。	児童	69.8	21.1	7.3	1.8	90.9	<u>9.1</u>
	保護者	59.7	36.1	2.8	1.4	<u>95.8</u>	4.2
	教職員	47.4	52.6	0.0	0.0	100.0	0.0
⑩子どもたちは，学校のルールを守っている。	児童	59.1	33.6	5.5	1.8	92.7	<u>7.3</u>
	保護者	41.7	56.9	1.4	0.0	<u>98.6</u>	1.4
	教職員	0.0	84.2	15.8	0.0	84.2	<u>15.8</u>
⑪子どもたちは，テレビやゲーム，スマホの約束を守っている。	児童	64.5	21.8	8.2	5.5	86.3	<u>13.7</u>
	保護者	8.3	41.7	41.7	8.3	50.0	<u>50.0</u>
	教職員	0.0	56.3	43.7	0.0	56.3	<u>43.7</u>
⑫子どもたちは，気持ちのよいあいさつをしている。	児童	90.0	9.1	0.9	0.0	<u>99.1</u>	0.9
	保護者	45.8	48.6	5.6	0.0	<u>94.4</u>	5.6
	教職員	30.0	60.0	10.0	0.0	<u>90.0</u>	10.0
⑬子どもたちは，すすんでスポーツや外遊びをしている。	児童	72.9	23.4	3.7	0.0	<u>96.3</u>	3.7
	保護者	51.4	26.4	16.7	5.5	<u>77.8</u>	22.2
	教職員	26.3	73.7	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
⑭子どもたちは，早寝早起き朝ごはんの生活習慣が身についている。	児童	57.0	34.6	6.5	1.9	<u>91.6</u>	8.4
	保護者	34.7	44.5	19.4	1.4	79.2	<u>20.8</u>
	教職員	0.0	93.8	6.2	0.0	<u>93.8</u>	6.2
⑮子どもたちは，歯磨きの習慣が身についている。	児童	49.6	41.1	8.4	0.9	<u>90.7</u>	9.3
	保護者	34.7	55.6	9.7	0.0	<u>90.3</u>	9.7
	教職員	5.9	94.1	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
⑯学校は，整理整頓され，学習環境が整っている。	保護者	33.3	58.4	8.3	0.0	91.7	<u>8.3</u>
	教職員	15.8	78.9	5.3	0.0	<u>94.7</u>	5.3
⑰学校は，学級通信などのお便りやホームページで学校の情報を伝えている。	保護者	67.6	26.8	5.6	0.0	94.4	<u>5.6</u>
	教職員	61.1	38.9	0.0	0.0	100.0	0.0
⑱学校は，PTA・地域と連携した教育を進めている。	保護者	48.6	51.4	0.0	0.0	<u>100.0</u>	0.0
	教職員	50.0	44.4	5.6	0.0	94.4	<u>5.6</u>

第1回目の課題と比べて

設問⑦子どもたちは、家や学校でほめられている。

児童・保護者ともに、プラス面が前期よりも高くなりました。お家でたくさんほめられたことが児童のプラスの増加につながっていると考えます。いつもありがとうございます。学校では、引き続き、授業の中で子どもたちが活躍する場を積極的に設け、自己肯定感を高めることができるように、また、子どもたちのよい行いを教職員間で共有し、ほめる機会をたくさんつくるようにしていきます。ご家庭と連携して一緒にほめていきたいとも思っています。良いことがあればぜひ学校にもお知らせください。

設問⑩子どもたちは、歯磨きの習慣が身についている。

緊急事態宣言下で歯磨きが中止となったことで、歯磨きの習慣が途切れてしまわないかと不安でしたが、児童・保護者・教職員ともに、プラス面が前期よりも高くなるという嬉しい結果となりました。歯磨きの曲を新しくしたり、歯の日の取組で歯磨きの大切さを学んだり、歯磨きカレンダーをつけて習慣化を図ったりという繰り返しの取組が子どもたちへの意識付けに役立ったのかなと考えております。ただ、いくら意識があっても忘れ物をしてしまうと学校での昼の歯磨きはできません。毎日準備いただきありがとうございます。今後も、取組とともに日常的な声かけを大切に続けていきたいと思います。お家でも朝晩の声かけどうぞよろしく願いいたします。

第2回目の課題

設問⑥子どもたちは、時や場に応じた言葉づかいをしている。

今回、教職員はプラス面が高くなりましたが、児童・保護者は低くなるという結果になりました。実感としては、学校で丁寧な言葉づかいをする子は増えてきているように思います。どのような言葉が「時や場に応じた言葉づかい」なのか、児童自身が分かってきたからこそ、自分ができていないことに気づくことができるようになってきている面もあるのかなと思います。時や場に応じた言葉づかいを「使う」ことができるよう、日々の声かけはもちろん、「ようせいマナーの達人」や児童会のキャンペーンとも連携して取組を進めていきたいと思います。

設問⑪子どもたちは、テレビやゲーム、スマホの約束を守っている。

他の設問に比べても圧倒的なマイナス面の高さが目立ちました。その中でも気になったことが、保護者・教職員のプラス面が50％程度なのに対し、児童は86.3％あり、64.5％は「よく出来ている」と自己評価している点です。再度「約束」について、どんな約束があるのか確認し合う必要があると感じました。2月の人権学習は情報モラルについて学習しました。この機会に「約束」について一緒に確認していただけたらと思います。

第2回目の誇れる点

②子どもたちは、授業中、ノートをしっかり書いている。

どの立場もプラス面が高く、このコロナ禍の中で行事や学校生活の制限があるにも関わらず、落ち着いて授業に取り組んでいる表れだと考えています。特に児童は97.3％という大変高い結果となっており、がんばりが伝わります。

⑩子どもたちは、気持ちのよいあいさつをしている。

前期の結果でも大変高い結果が出ましたが、後期になりさらにプラス面があがりました。子どもたちが自信をもって取り組んでいる「スーパーあいさつ」が周りから見ても「出来ている」と認められたこと、嬉しく受け止めております。といっても、まだまだ完璧ではありません。これからも取組を続け、さらにレベルアップを図っていききたいと思います。

自由記述欄より

〇1月の人権に関する家庭訪問をなくしてほしいです。意図がわかりません。

毎年、ご協力いただきありがとうございます。家庭訪問の意図をきちんと伝えられておらず申し訳ございません。本校が大事にしている人権の取組の一つです。人権問題、とりわけ同和問題について保護者の方の考えや経験を直接聞かせていただくことで、我々教職員が学び、人権意識を高める機会とさせていただいています。貴重な意見をもとに、人権に関する懇談会につなげていきたいと思っておりますので、お忙しいとは思いますがご協力いただけたら幸いです。

〇子どもたちの学校生活が見えるよう、ホームページ更新頻度を上げていただきたいです。

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍で学校へ来ていただく機会がほとんどないため、ホームページが学校生活をお伝えする上で大事な役割を担っていると学校側も認識しております。楽しみにしていただいている声も聞いておりますので、今後もできる範囲での更新にはなっていますが、できるだけ学校生活をお伝えできるように意識していきたいと思います。

〇インターネットについて、自分にとって都合の良い情報ばかり集めているように感じ、心配しています。自分に心地良い情報だけでなく心地悪い情報に対する接し方について考えるキッカケを学校側で作って頂けたらと思います。親も子どもとしっかりと話し合う必要性を感じています。

情報社会の中で暮らす子どもたちにとって、溢れる情報の中から自分で判断する力は不可欠です。しかしながら、判断するには、自分にとって都合の悪い情報含め、様々な情報を自分で読み解く力が必要で、子どもたちにとってなかなか難しいことも実感しています。一人1台GIGA端末をもち、ネットがより身近な存在になったからこそ、情報に向き合う姿勢とともに、多面的多角的なものごとをとらえる視点、そして文章などを読み解く読解力を学習の中で意識して身に付けさせたいと思います。

〇学校からノートパソコンを持ち帰った日は、楽しそうにICT学習に取り組んでいます。

子どもたちのGIGA端末への順応力は目を見張るものがあります。情報モラルの面を指導しつつ、ICTの良さを最大限活用できるよう学習の中でも利用をさらに進めていきたいと思います。

〇新しい先生や環境に不安が強くなる子にとっては、よく知ってくださっている先生にみてもらえることは大きな安心になるので、持ち上がりや再度の担任があれば嬉しいです。

本校は単級で、6年間メンバーが変わらないからこそ、担任の変化というのは子どもたちにとって影響の大きいものだと思います。いろいろな担任・担当と接する中で、子どもたちの持つ良さを様々な形で引き出したいと思っています。一方で、子どもの安心感はとても大事にしたいと思っています。安心して学校生活を送ることができるよう、前の担任との引継をしっかりと行うことはもちろん、規模の小さい学校だからこそ、子どもたちを学校全体で連携を図り、子どもたち一人ひとりと関わっていききたいと思います。

〇コロナウィルスの感染拡大が心配な中、学校の教職員の方々が最大限に予防の対策をして下さっているおかげで、子どもたちが安心して登校できています。どうもありがとうございます。

嬉しいお言葉ありがとうございます。他にもこのような感謝の言葉を多数いただきました。とても励みになります。今後も、信頼される学校として教育活動を進めてまいりたいと思います。

学校運営協議会より

- ・人権を大事する養正教育の良い伝統を続けていってほしい。そのためには、保護者・地域と学校が連携することが大切。学校側は、取組だけでなく、なぜやっているのか意図を伝えられるようにすることが必要。
- ・行事等、コロナ禍だからできない、ではなく、現状で子どもたちのために何ができるのか考えて、最大限実施していただけたことがありがたかった。地域としても、子どもたちや学校を支えていきたい。